



題字：鳩山威一郎

機関紙「友愛」

発行所

(財)日本友愛青年協会

〒112-0002

東京都文京区小石川

1-10-13 松本ビル2階

TEL: 03-5684-3188

FAX: 03-5684-3186

発行人：川手正一郎

編集人：中川 治男

隔月1回 10日発行

購読料

年額 3,000円

バングラデシユ教育グループ来日

教育現場・体験談・絵本・茶道・祭り 日本文化を堪能

独立行政法人国際協力機構(JICA)が行う青年招へい事業により、バングラデシユ・教育初中等グループ十五名が七月十三日に大阪に来日。四日間の共通プログラム(日本の学習)の後、十八日から二十五日までの八日間、沖縄においてホームステイを含む「地方プログラム」を実施。次いで二十六日から八月二日まで、財団法人日本友愛青年協会が受入れを担当した「都内プログラム」に入学し、日本文化体験など多彩なプログラムを行った。二十九日から軽井沢友愛山荘で開催した二泊三日の合宿セミナーでは、意見交換や交流会など充実した三日間を日本青年と過ごした。

連日の猛暑にもかかわらず、バングラデシユ青年たちは積極的にプログラムをこなして、八月四日、たくさんの思い出を胸に帰国の途についた。

今回来日したのは、バングラデシユの教育(初中等)分野に関わる青年と、ジャーナリストの青年一名を含む十五名のグループで、本協会としては、今年度、二度目の教育関係者の受入れとなった。二十三日間に及ぶ日本滞在中、財団法人日本友愛青年協会(都内プログラムを担当)と沖縄県国際交流・人材育成財団(地方プログラムを担当)がそれぞれ八日間の受入れを行った。プログラムの特徴的なこととして、「日本の教育」を主題に、講師や施設見学等、本協会ならではの企画を実施できたことがあげられる。

都内プログラム内容
七月二十六日(火)
沖縄より東京に移動
オリエンテーション
七月二十七日(水)
講義「日本の教育について」
講師/文部科学省生涯学習政策局政策課長大槻達也氏
国会議員表敬訪問
衆議院議員・元文部大臣鳩山邦夫氏
衆議院議員・青少年問題特別委員会所属 石田勝之氏
国会議事堂見学
学校法人学習院訪問
七月二十八日(木)
講義「日本の子どもの現状・不登校児」
講師/鶴巻武氏
東京消防庁池袋都民防災教育センター視察
七月二十九日(金)
合宿セミナー
都内見学(浅草)
アラブ・イスラーム学院礼拝堂主日礼拝に参加
軽井沢に移動
オリエンテーション
カントリーレポート
染谷丘高校三年生三名参加

グループディスカッション

七月三十日(土)

グループディスカッション

長野県上田市に移動・木の実連神輿に参加

交流の夕べ

七月三十一日(日)

グループディスカッション

全体会(プレゼンテーション)

八月一日(月)

東京都教職員研修センター訪問

福音館書店訪問

講義「絵本の読み聞かせ実践」

「絵本の読み聞かせ実践」

本編集の現場から

講師/月刊誌編集者 部長

森達夫氏、編集者 編集情報

室・高松夕佳氏、「かがくのとも」編集長・平田久晴氏

八月二日(火)

日本伝統文化体験 講義「和

のしつら」講師/齋藤宗厚氏

文部科学省で講義を受ける

プログラム二日目、文部

科学省生涯学習政策局政策

課長・大槻達也氏より、「

日本の教育」について講

義を受けた。日本の教育の

概要や問題点等、これまで

の経験に基づき解かり易い講

義を聞いた。

直接、文部科学省の担当

官から話を聞くことが出

来、一行は最初から迫力の

あるスケジュールに驚いて

いた様子だった。

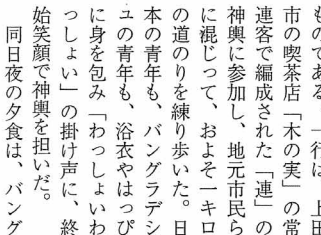
国会見学・議員表敬訪問



体験を交え、家庭のあり方について語る石田代議士



国を超え、年齢を超え、性別を超え、フォークダンスのリズムが国際交流のリズムを刻む



国を超え、年齢を超え、性別を超え、フォークダンスのリズムが国際交流のリズムを刻む

また、衆議院議員・元文部大臣・鳩山邦夫氏が、ご多忙の中バングラデシユ青年を歓迎するために駆けつけて下さり、青年たちは鳩山邦夫氏の思いに感謝をし、楽しそうに記念写真におさまっていた。

学校法人学習院訪問
プログラム二日目、青年一行は百五十年以上の歴史と伝統を継承する学校法人学習院を訪問し、一貫教育を行う私立学校の現場を視察した。青年たちは、日本の教育現場を目にし、校内を興味深く見学を行った。また大学の校内では、琴の演奏やフォークダンス部によるダンスの歓迎を受け、楽しいひとときを過ごした。

「日本の子どもの現状」について
永年教育の現場で、校長先生として活躍されてきた鶴巻武氏より、日本の子どもの現状について講義をいただいた。五十年にわたる現場での経験から、具体的な体験談を交え、現在の教育における問題点、子どもと教育のうづりかきわりを丁寧に、分かりやすく説明していただいた。きちんとまとめられた資料による解説

で、講義を受ける青年たちは、熱心に聞き入っていた。鶴巻武氏は、本協会常務理事・鶴巻克雄氏の弟さん。軽井沢友愛山荘で行われた合宿セミナーでは、日本青年十六名と共に二泊三日を過ごした。今回のディスカッションは、お互いの国の「教育の現状」を話し合い、これからの改善策や対策を考える貴重な時間となった。

二日目は、長野県上田市主催「第34回上田わっしょい」に参加した。この祭りは、昭和四十七年より開催されている市民の祭りで、神様を祀った「宮神輿」と神を祀った「神神輿」とを、十数人で担ぎ、町中を練り歩く。このような祭りへの参加という、また新たな機会を得られたのは、本協会OB・上田市議会議員土屋陽一氏のご尽力によるものである。一行は、上田市の喫茶店「木の実」の常連客で編成された「連」の神輿に参加し、地元市民らの道徳を練り歩いた。日本の青年も、バングラデシユの青年も、浴衣や浴衣に身を包み「わっしょいわっしょい」の掛け声に、終始笑顔で神輿を担いだ。

同日夜の夕食は、バングラデシユの子どもたちと交流した。鶴巻武氏は、熱心に聞き入っていた。鶴巻武氏は、本協会常務理事・鶴巻克雄氏の弟さん。軽井沢友愛山荘で行われた合宿セミナーでは、日本青年十六名と共に二泊三日を過ごした。今回のディスカッションは、お互いの国の「教育の現状」を話し合い、これからの改善策や対策を考える貴重な時間となった。

友愛時評
今年は梅雨明けの頃から猛烈な暑さがつき、海や山での事故のほか、熱中症の患者も多く、さては地球の温暖化現象かと、さわがたの向きもあつた。ところが、この暑さをさらに暑くする出来事が「永田町」でおこった。小泉内閣が激しい言葉で主張した「郵政民営化」法案は衆議院では僅差で通過したが、参議院では危ないのではないかと、マスコミが報じた。八月八日(月)午後一時から右法案が採決されると知り、その時間にあったので、テレビの前に座った。言うのは、もし参議院で否決されたら「衆議院解散」をすると小泉首相が言明したと報じられたから

最終日には、全体会を通して各グループの発表が行われ、それぞれのグループの話し合った内容や今後の対策などが発表された。福音館書店で日本の絵本を楽しむ

プログラムの七日目には、福音館書店を訪れた。絵本の楽しさと役割について森達夫氏よりお話を頂いた後には、高松夕佳氏から絵本の読み聞かせを実践し

ラデシユ青年のお国自慢料理が披露された。バングラデシユの食べ方を習い、皆右手を使って料理を味わった。その後交流の夕べが開催され、御神楽や能、パングラデシユの結婚式の模様を再現するなど、盛りだくさんの内容で、夜遅くまで楽しんだ。

最終日八日目は、外観から日本の住み、寂の風情を充分に感じられる世田谷区成城にある「一宮庵(いつくうあん)」において、齋藤宗厚氏より「和の設け(わのしつらい)」についてお話をいただいた。

*齋藤宗厚氏(二宮庵主 談

「和の設け」の基本は、引き算の文化です。大自然を身近に取り込むという気持ちから、茶室には日頃は床の間に、畳座敷にも何も置きません。「空(くう)」というか、0(ゼロ)の状態を自然のものとしています。そしておもてなしの時は、お客様の気持ちをのびのびと、季節の花を自然の状態で、茶碗、水差し、畳などお茶道具も取り合わせを考えてお茶をします。そうして、客室はその人のために用意された空間となります。そこは、招いた人と、招かれた人の気持ちの満ちた、人と人との出会いの最高の環境となります。

次回に齋藤氏よりお話を披露していただき、バングラデシユ青年には和菓子と抹茶が振舞われた。来日青年たちは、未知の味、始めての経験に戸惑いながらも、日本文化のひとつを体験し、お話をいただいた。

八月四日、蟬の音が残る夏空のもと、元気に帰国の途に着いた。

前回、フロンガス为例に、私たち人類がいかに地球に対して悪事を働いてきたかを話した。ではなぜ、その人類の犯している悪事を止めることができないのか考えて見よう。

大方の方は「キョウギ」をご存知でしょうが、若い方は知りません。キョウギは、木をうすく紙状に削いで作った、食物を包むための物で、竹の子の皮で作られたものもあり、こちらは現在でも時折見かけ

ます。「お箸を包むもの」といふは想像できるでしょうか。かつては肉屋でも魚屋でも、佃煮、味噌などを売るときもこのキョウギが使われていました。今はすべて発泡スチロールとラッピングフィルム、せいぜい紙製の紙でしょうか。

確かに、今日の私たちの生活からプラスチックを取り上げてしまつたら、ほとんど成り立たなくなるでしょう。そればかりでは、プラスチックの発泡スチロールが使われて

温故知新(四)生活を縮小させる勇気

本協会理事 鳩山邦夫

前回、フロンガスを例に、

私たちが人類がいかに地球に対して悪事を働いてきたかを話した。

でももう一度、昭和三十年代の生活に戻したら今日ほど、地球に迷惑をかけるのではないでしようか。後戻りは大変です。しかしそれは本当の意味では前進で、これからの地球を考えたら、本気で取り組まなければいけない問題だと思ひます。

政治家がそのような「生活を縮小」を口にするのは「選挙に不利」と誰かを出してやってくれ、という方法を見出し、人類の英知を発揮すべき道ではないでしようか。

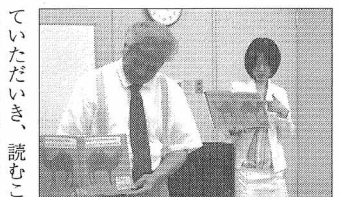
同時に「地球を守る」という認識を持つことが大切です。そして一人ひとりが勇気を持って、「地球を守るための生活の縮小」を肯定し、どうすれば実践できるのか、英知をこぼして考えてみることにしたいと思います。(つづく)



バングラデシユの郷土料理が行き交う。皆「お代わり」の連続。和やかな交流のひとつ



浴衣・ハッピーと初めの経験ながら、すっかり気に入った様子。なかなかお似合いです!



絵本に流れる心は、世界共通です。心を育む子供の時には勿論、大人にも絵本は大切な



「一期一会」の精神を、お点前を通して伝える齋藤宗厚氏。豊で静かな時間が流れていった

尊厳ある日本を創る

(四)「創憲」という考え方

本協会理事

鳩山由紀夫

いわばタブー視されていた「憲法について語る」とも、野党第一党である民主党が、代表の直風機関として「憲法調査会」を置くなど、積極的な「憲法見直し」を行っていることから、現在では衆参両院に「憲法調査会」が設置されるまでに至った。

これから日本を創るにあたって、喜ばしいことではあるが、それはとりもなおさず、現在の憲法の行き詰まり、戦後政治体制の行き詰まりを証

明していることに他ならない。今こそ、友愛精神にのっとり、個人個人も、一国一国民の制度の根本的な改革が必要となる。さほどに現行憲法の理念のもと、日本という国家の理想を打ち立てる時である。もちろん現行憲法に育まれてきた理念の、よいところは取り入れるにせよ、「護憲」「改憲」という立場で考えるのではなく、「創憲」という、まったく新しく、現在の社会に

が、為政者をして憲法の拡大解釈を可能ならしめているのである。しかし、問題をあらわしているのは憲法そのものの曖昧さだけではなく、戦後日本の政治体制、いわば中央集権政治体制そのものにある。地域の

を創り上げる必要がある。そして同時に、その仕組みは憲法に明記されていなければならない。しかし、語句にとらわれることなく、「国民が素直に読んで理解できる憲法」を目指すことはいうまでもない。

次回、その具体的な内容について述べたいと思う。(つづく)

未来への遺産に光を



第四回 世界遺産 高杉信美

七月十五日の朝、マスコミはいっせいに、南アフリカのダーバンで開催されて

【複合遺産】文化遺産と自然遺産の、両方の価値を兼ね備えている遺産。

これからの遺産にはそれぞれ登録基準があり、条約加盟国が、自国内の候補地を世界遺産委員会に推薦することから始まり、その後候補地の評価調査を経て、現在日本を含む二十一カ国で構成されている「世界遺産委員会」で審査され決定される。

ユネスコの世界遺産は、それまで対立するものとして考えられてきた、文化と自然が密接な関係にあり、ともに守るべき人類の大切な遺産であるという、新しい考え方がここから始まり、正式には「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に

一九九三年に決まった屋久島と白神山地に次いで自然遺産は三件目、沖合三キロまでの海域を含めた自然遺産は、国内では初めて、これで日本の世界遺産は十三件になった。

世界で世界遺産の一番多いのはイタリアの四十一件(ヴァチカン、マルタを含む)全て文化遺産、二番目は、スペイン三十二件、うち自然遺産一件。

世界遺産の合計はこれで、昨年の七八八件を二十四件上回る、合計八二二件に達した。

世界遺産は、次の三つのいずれかの遺産と登録され、不動産が対象となっている。

【文化遺産】すぐれて普遍的な価値をもつ記念物、建造物群、遺跡、文化的景観。

【自然遺産】鑑賞上、学術上、保存上優れた普遍的価値をもつ地形や生物、景

観などを含む地域。

【複合遺産】文化遺産と自然遺産の、両方の価値を兼ね備えている遺産。

これからの遺産にはそれぞれ登録基準があり、条約加盟国が、自国内の候補地を世界遺産委員会に推薦することから始まり、その後候補地の評価調査を経て、現在日本を含む二十一カ国で構成されている「世界遺産委員会」で審査され決定される。

に関する条約」として、一九七二年の第十七回総会で採択された、加盟国数において最大の国際条約である。

我が国は一九九二年に、二五番目の条約国として加盟している。

この文章を書いていて思い出されるのは、ポロブドール復興協力会を設立して、「未来への遺産に光を」と運動を始めたのは、世界遺産条約採択の三年前、日本の条約加盟のなんと二十三年前のことだった。

ユネスコの世界遺産は、それまで対立するものとして考えられてきた、文化と自然が密接な関係にあり、ともに守るべき人類の大切な遺産であるという、新しい考え方がここから始まり、正式には「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に

お詫びと訂正
本紙五月号本欄の五行目、「地上四メートル」を「地上四十メートル」に訂正いたします。ご迷惑おかけいたしました。

お詫びと訂正
本紙五月号本欄の五行目、「地上四メートル」を「地上四十メートル」に訂正いたします。ご迷惑おかけいたしました。

お詫びと訂正
本紙五月号本欄の五行目、「地上四メートル」を「地上四十メートル」に訂正いたします。ご迷惑おかけいたしました。

お詫びと訂正
本紙五月号本欄の五行目、「地上四メートル」を「地上四十メートル」に訂正いたします。ご迷惑おかけいたしました。

お詫びと訂正
本紙五月号本欄の五行目、「地上四メートル」を「地上四十メートル」に訂正いたします。ご迷惑おかけいたしました。

お詫びと訂正
本紙五月号本欄の五行目、「地上四メートル」を「地上四十メートル」に訂正いたします。ご迷惑おかけいたしました。

お詫びと訂正
本紙五月号本欄の五行目、「地上四メートル」を「地上四十メートル」に訂正いたします。ご迷惑おかけいたしました。

お詫びと訂正
本紙五月号本欄の五行目、「地上四メートル」を「地上四十メートル」に訂正いたします。ご迷惑おかけいたしました。

お詫びと訂正
本紙五月号本欄の五行目、「地上四メートル」を「地上四十メートル」に訂正いたします。ご迷惑おかけいたしました。

* ホームページ開設 *

開設

日本友愛青年協会についての説明はもとより、鳩山一郎先生の足跡、友愛山荘のご案内、そして活動内容や募集情報にいたるまで解かりやすく掲載しております。また、随時情報の更新を行い、最新情報をタイムリーに提供していく予定です。

皆様のアクセスをお待ちいたしております。

このホームページについてのご意見、ご感想またご要望など事務局までお寄せください。

「友愛活動」の顔として、有益な情報を提供できるような内容の充実をはかって参ります。

http://www.yuaiyouth.or.jp

http://www.yuaiyouth.or.jp

http://www.yuaiyouth.or.jp

http://www.yuaiyouth.or.jp

http://www.yuaiyouth.or.jp

http://www.yuaiyouth.or.jp

http://www.yuaiyouth.or.jp

http://www.yuaiyouth.or.jp

http://www.yuaiyouth.or.jp



カレルギー伯爵。鳩山さんと来日記念の写真。共立女子学園前にて

米国の要人に大きな影響を与えた。

当時の米国内では、ハル國務長官の「二つの世界」(具体的には国際連合構想)との緊張関係から、パン・ヨーロッパのような地域統合構想に対してはむしろこれを警戒する声の方が強かった。ク伯の働きかけは、そうした米国の風潮に影響を与え、戦後の米国外交が(東西冷戦の激化という要因もあるにしろ)ヨーロッパ統合に支持を与える土壌を育んだのである。

第二次大戦後、米国の欧州復興のために供与した「マーシャル・プラン」の施行に際しては、米国の援助受け入れ機関としてOECD(現在のOECD)が組織され、経済データの標準化や生産性の向上等、西側経済の「統合」が可能となった。また、従来の「同盟」概念では説明できないほど強く結びついた集団安全保障体制としてのNATOが組織され、東側陣営に対抗する「大西洋共同体」が生まれた。

また、ク伯がその理想の実現を託し、米国内命時に最も熱心にアプローチした相手はチャーチル英首相であつた。チャーチルは戦後

の欧州国際体系の再編が不可避な情勢を鋭敏に感じ取り、ク伯のパン・ヨーロッパに共感を示しつつも、義息ダンカン・サンズに独自のヨーロッパ統合運動を組織させた。大戦後、チャーチルはチャーチル演説(一九四六年)で「欧州合衆国」を打ち出し、「ク伯とも協力しながら一九四八年にはハーグ会議の開催にこぎ着け、これが翌年の欧州評議会(CEE)現在でも人権擁護や文化交流の分野で存在感を示す欧州の国際機関」の創設をもたらした。

こうした第二次大戦後のヨーロッパ統合の実現に与えたク伯の影響は、次第にその評価が低いものとなっていく。それと反比例するかのうちに、ク伯の統合運動を「幕僚」したチャーチルや、米国のヨーロッパ統合に対する支持を存分に利用したジョン・モネ(次号に詳細を掲載予定)の役割が高まってくる。

何故だろうか。

実は米国内命時のク伯は、パン・ヨーロッパ運動者であるオットー・フォン・ハプスブルクとも協調し、オーストリア亡命政府の樹立も目指していた。そうした動きは失敗に終わり、戦後のオーストリアは東西対立の中で中立を余儀なくされ、西欧統合から外れることとなる。やや逆説的ではあるが、国家の後ろ盾を失ったク伯は、統合の実現に際して端役に甘んじざるを得なくなったということなのかもしれない。

(つづく)

(つづく)

(つづく)

(つづく)

山田基絵画伯夫人より

作品「鳩」寄贈さる

「友愛」の言葉によみがえる思い出

軽井沢友愛山荘に宿泊した。Y M C Aの信条の中泊に込められたお客様に友愛の精神がこめられていた。絵画「鳩」を寄贈いただきました。

「寄贈くださったのは、山田歌子様、故山田基絵画伯夫人です。

山田基絵画伯は、帝国美術学校(現武蔵野美術大)、Y M C A芸術園などで長年絵画教育に携われ、また

自身も「七日会」を主宰、毎年展覧会を開催するなど、画家として活躍された。

歌子夫人から頂戴したお手紙を、ご了解のもとここに掲載し、ご紹介するとともに、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

友愛山荘様 拝啓 このたびは地球クラブの一員として大変お世話になりました誠にありがとうございました。お陰さまで、初めて真夏の軽井沢を満喫することができました。

私の主人は画家で、長らくY M C A、女子学院等で絵を教えておりました。

「鳩」は友愛山荘に展示させていただきます。山荘には是非鑑賞ください。

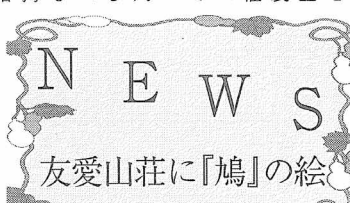
二〇〇五年八月五日 地球クラブ連絡デスク 東京 山田歌子

二〇〇五年八月五日 地球クラブ連絡デスク 東京 山田歌子

二〇〇五年八月五日 地球クラブ連絡デスク 東京 山田歌子

二〇〇五年八月五日 地球クラブ連絡デスク 東京 山田歌子

二〇〇五年八月五日 地球クラブ連絡デスク 東京 山田歌子



友愛山荘に「鳩」の絵

友愛クラブ

元気印軍団

株式会社ティスト

代表取締役社長 渡邊正数



「友愛」との出会いは、一九八〇年の鳩山邦夫先生三回目の選挙終了後、「友愛活動」をしませんかと誘われたのが、始まりでした。

その半年前、一九七九年に行われた、鳩山邦夫先生二回目の選挙の時に、選挙運動のお手伝いとして参加し、縁ができました。

その時の学生ボランティアは、日本中の元氣者が一同に集合したかの様な軍団でした。気持ちの通い合っていることも、パワーの源でした。

残念なことにはその時の選挙は、鳩山家として、初めての落選を味わうという結果に終わりました。本郷の選挙事務所には、秘書の姿はなく、とても寂しいもの悲しい空気が流れていました。最悪な雰囲気の中、我々学生ボランティアだけで選挙事務所の後たづけを行っていました。そんな我々を励まして来て下さったのが、鳩山安子奥様でした。

安子奥様は、「寂しい思いをさせて申し訳ありません」と仰って、ご自分で握ったおにぎりを沢山持ってきてくださったのです。息子を思う気持ちもあつたのでしょうか、それ以上に、毅然とした態度での立ち居振る舞いに、他人を思いやる心、気遣いの心を見せていただいた思いがしました。

私にとつての「友愛精神」は、今でも安子奥様のおにぎりが原点です。次に選挙をお手伝いする機会があったら、安子奥様にこの様な寂しい思いをさせない

で済むようにしてみせるぞと、その時に堅く決心をしたのを覚えています。

半年後、直ぐの選挙となりました。それが、前述の一九八〇年です。

よる日韓青年友好事業、共催／日中友好親善友愛青年使節団(研修生事業の調印式など)／日本語評論大会開催(鳩山杯)／友愛バザー開催／東南アジア五カ国 青年代表招聘／東南アジア 青年代表派遣／バレーボール大会開催／ソシアルダンス発表会開催／中華人民共和国「青少年三〇〇人招待」事務局／国連・国際青年年「世界青少年の村」共催／友愛セミナー(友愛啓蒙活動)開催

山一人君の過労死です。元気印の固まりの様なメンバーで、何をやっててもへこたれない、自信家だった彼の死は、皆に大きな衝撃を与えました。改めて、心よりお悔やみを申し上げます。

友愛青年連盟時代の思い出が書き尽くせないほどありますが、強く印象に残っているのは、二十五年前、鳩山邦夫先生を団長に、日中友好親善友愛青年使節団として、初めて中国に行った事です。行く先、行く先で私たちがバスに乗り込もうとすると、残留孤児がよつて来て、「日本に帰りたい」と訴えていたこと。

「上層部は日中友好と言っている、町の中は戦争の恨みを忘れない」と言われたこと。私の様な若者が、当時の中国の一般的な「年収に相当する買い物(但し、五千円で、何をしてもへこたれない、自信家だった彼の死は、皆に大きな衝撃を与えました。改めて、心よりお悔やみを申し上げます。友愛青年連盟時代の思い出が書き尽くせないほどありますが、強く印象に残っているのは、二十五年前、鳩山邦夫先生を団長に、日中友好親善友愛青年使節団として、初めて中国に行った事です。行く先、行く先で私たちがバスに乗り込もうとすると、残留孤児がよつて来て、「日本に帰りたい」と訴えていたこと。

もう一つだけ強く残っている思い出を書くとすると、友愛青年使節団としてアセアン五ヶ国を訪れた時のことです。全員で十五名程度の小さな団体でしたが、「団長」兼「添乗員」兼「通訳」の三役兼任で、とても忙しかった状況の中で、マレーシアに行ったときに国営放送の5チャンネルの密着取材を受けました。連日、何をしても、大きなカメラが嫌でも視野に入るという状況が続きました。もちろん初めての経験で、取材攻め始めてのことでした。内容は夕方のテレビで放映され、その中で、大きな会議場の中で、自分で話した内容を自分で英語にして演説するという、後に先にもないだろうという経験をしました。

今回の執筆は、改めて原点を振り返り、数々の貴重な経験を思い出す感謝と共に再認識する良いきっかけとなりました。「友愛クラブ」メンバー年齢と友愛は今も、安子奥様のおにぎりの味と心を大切に、友愛精神を保ち続けたい、それが私自身の「友愛」です。

また、裏方として皆を支えてくれたのが、大学卒業後、友愛青年連盟、事務局長に就任した久松久志君です。仕事だったとは言っても、彼の頑張りには素晴らしいモノがありました。彼のお陰で、皆が大学卒業後、仕事をしながらでも友愛活動を行っている事が出来たのです。それと、忘れてはいけないうのが、ハードな外資系企業に勤めながら、友愛活動を行っていた中

友愛ドイツ歌曲コンクール文部科学大臣奨励賞受賞者矢崎さんオーストリアでコンサート開催

貴重な経験を寄稿

平成十七年度友愛ドイツ歌曲(リート)コンクール本選会において、文部科学大臣奨励賞に輝いた矢崎千洋さんが、四月二十一日、オーストリア勤労青年連盟(OJAB)主催音楽会に出演された。

音楽の都、音楽家を目指す者にとつての聖地といえる、オーストリアでのコンサート、オーストリアでのコンサートを終えて、その感想を「友愛」に寄せていただいた。

友愛ドイツ歌曲コンクール 文部科学大臣奨励賞受賞者矢崎さん オーストリアで コンサート開催 貴重な経験を寄稿



平成十七年度友愛ドイツ歌曲(リート)コンクール本選会において、文部科学大臣奨励賞に輝いた矢崎千洋さんが、四月二十一日、オーストリア勤労青年連盟(OJAB)主催音楽会に出演された。

音楽の都、音楽家を目指す者にとつての聖地といえる、オーストリアでのコンサート、オーストリアでのコンサートを終えて、その感想を「友愛」に寄せていただいた。

平成一十六年度友愛ドイツ歌曲(リート)コンクール本選会において、文部科学大臣奨励賞に輝いた矢崎千洋さんが、四月二十一日、オーストリア勤労青年連盟(OJAB)主催音楽会に出演された。

音楽の都、音楽家を目指す者にとつての聖地といえる、オーストリアでのコンサート、オーストリアでのコンサートを終えて、その感想を「友愛」に寄せていただいた。

今回の執筆は、改めて原点を振り返り、数々の貴重な経験を思い出す感謝と共に再認識する良いきっかけとなりました。「友愛クラブ」メンバー年齢と友愛は今も、安子奥様のおにぎりの味と心を大切に、友愛精神を保ち続けたい、それが私自身の「友愛」です。

友愛ドイツ歌曲コンクール文部科学大臣奨励賞受賞者矢崎さんオーストリアでコンサート開催

貴重な経験を寄稿



主催側会長シュスラー氏(右)と副会長ベルコピッチ氏(左)と記念撮影

聴衆の皆さんからは「今回の演奏会を楽しみにしています」「次はもっと日本の歌が聴きたいです」などの言葉をかけていただきました。またウィーンで歌えるようにもつと勉強しなくてはと感じました。

参加募集要項
一次予選：十月二十九日(土) 旧東京音楽学校音楽堂
二次予選：十一月三十一日(月) 日暮里サニーホール・コンサートサロン
本選：十一月三十日(水) 旧東京音楽学校音楽堂

☆募集要項をご希望の方は、八十円切手三枚同封、住所氏名を明記の上、本協会事務局までお送りください。